

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとかいりょう

土地改良



VOL. 526

2023
7.25 [Tue]

イメージキャラクター
みどりちゃん



「原風景を彩る」 撮影者／伊藤正人

表紙の写真は、昨年行われた第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールにおいてSNS秋田の農業&農村部門「最優秀賞」を受賞した作品です。

水土里ネット秋田では、第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールの作品を募集中です。皆さまからの素敵なお写真お待ちしております。

【お問合わせ】

水土里ネット秋田 総務企画部 政策・広報班
TEL.018-888-2742

≡ 農業農村整備の集い ≡

農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

6月15日（木）砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」で、令和6年度当初予算の確保と、食料・農業・農村基本法の見直しや関連する制度・事業の支援などの実現に向けた「農業農村整備の集い」が開催され、全国から土地改良関係者など約1,200名（出席国会議員含む）が参加した。



二階全土連会長

始めに二階俊博全土連会長が「本日は多くの方々にご出席いただき、日頃から土地改良に対して熱意ある活動をされている国会議員の先生方初め、大きなご支援に対し土地改良の関係者として心から感謝申し上げる。そのことに対して、あらゆる選挙を通じて、日頃のご活動に対してお返しをしていかなければならない。我々の代表である進藤金日子議員と宮崎雅夫議員が全国津々浦々を日頃から回っていただき、皆さんの声を国会に届けていただいている。だからこそこの2人をしっかりと支援していくことが大事であると常々思っている。

また、土地改良における男女共同参画は、未来に向けた土地改良団体の強化のために避けては通れない。しっかり取り組んでいこうお願いしたい。『闘う土地改良』は、これからも限りなく続く。一致団結して更なる闘いを続けることで、土地改良を通じ日本の農業の更なる発展に向けてお互いの力を尽くし合うよう皆さんのご協力をお願いしたい」と挨拶を述べた。

ご臨席の勝俣孝明農林水産副大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、自民党の森山裕TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、塩谷立党財務委員長、武部新党農林部会長、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問からの力強いご祝辞をいただくとともに、多くの国会議員の皆様にも駆け付けていただいた。



宮崎雅夫議員

その後、要請文提案・採択、来賓紹介、全土連理事の星野恵美子氏（那須野ヶ原土地改良区連合専務理事）による事例発表、宮崎雅夫参議院議員による情勢報告などが行われ、最後に福井県土連理事・福井県女性の会会長の竹内成子氏による「ガンバロウ三唱」の力強い発声と盛大な拍手をもって閉会した。



進藤金日子議員



会場の様子



ガンバロウ三唱

目次

CONTENTS

農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～
あきた水土里ネット女性の会 令和5年度通常総会の開催
秋田県土地改良事業団体職員会「第63回通常総会」を開催
秋田県農地集団化推進協議会第63回通常総会を開催
令和5年4月から災害応急用ポンプの貸付を開始しております
農地集積加速化基盤整備事業「五里合地区」（男鹿市）のご紹介！
水土里のゴミゼロ活動報告
男女共同参画推進に関する意見交換会の開催について
令和5年度「男女共同参画社会づくり表彰」受賞について
女性事務局長に聞く！土地改良区リレーインタビュー
（内越土地改良区 事務長 斉藤 理枝子）
（管理情報部からのお知らせ1）農業水利施設の団体営事業選択フロー

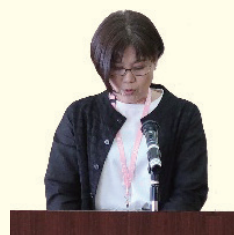
2
3
3
4
4
5
6
8
8
9
10

（管理情報部からのお知らせ2）水土里情報システムのデータベースについて
未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2023
令和5年度秋田県土地改良事業推進大会
第146回秋田県種苗交換会「農業農村整備フェア」を開催します！
「随想」（かつの土地改良区：田端 純佳）
会員だより
連合会日誌
水土里レポーターによる写真投稿
（新城川土地改良区：庶務（ほ場整備事業担当）佐藤 宗幸）
令和5年春の叙勲
リレー感想文
編集後記

11
12
12
12
13
13
13
14
14
14
14
14

あきた水土里ネット女性の会 令和5年度通常総会の開催

5月31日(水)秋田テルサ(秋田市)において、あきた水土里ネット女性の会(根本由紀子会長) 令和5年度通常総会が開催された。



根本会長

あきた水土里ネット女性の会は、令和元年に設立されたものの長引くコロナ禍において書面での総会が続いていたが、今回初めて対面での総会を開催することができた。

総会では、根本会長の挨拶に続き、議事では、令和4年度会計収支決算、令和5年度会計収支予算、会則の一部改正等の議案審議が行われ、提出議案は全て承認・可決された。議事の中では、役員の任期満了に伴い新役員の選任が行われ、会長には根本由紀子氏(かづの土地改良区)、副会長に坂本由美子氏(秋田県仙北平野土地改良区)、佐藤京子氏(由利本荘市矢島町土地改良区)、佐藤則子氏(北秋田市土地改良区)、総括監事に杉渕美貴氏(秋田県南旭川水系土地改良区)が選任された。役員の任期は令和8年総会までとなっている。

総会終了後、atelierおしゃれいろ代表の大嶋理香様より「自分に似合うカラー診断について」個々のパーソナルカラー診断の方法や自分に似合う色など実演を交えながら講演をしていただき、参加者からは「楽しくパーソナルカラーの勉強ができて、参考になった」と感想をいただいた。



総会の様子



カラー診断の様子



カラー診断実践の様子

秋田県土地改良事業団体職員会「第63回通常総会」を開催

◆優良会員8名を表彰、新会長に伊藤清栄氏(仁井田堰土地改良区)を選任

6月30日(金)県社会福祉会館(秋田市)にて、秋田県土地改良事業団体職員会(畠山篤美会長)第63回通常総会が開催された。

総会は、畠山会長の挨拶に続き、優良会員表彰、来賓の秋田県土地改良事業団体連合会 佐藤暢芳専務理事、県農林水産部 足立徹農地整備課長の祝辞が行われた。

また、議事に先立ち、県農林水産部 足立課長を講師に「農業水利システムと配水操作(県内土地改良区の事例)」をテーマとした情報提供が行われた。

議事では、議長に加藤隆和氏(由利本荘市土地改良区)を選任し、規約の一部改正、令和4



畠山会長



総会議事の様子

年度会計収支決算、令和5年度会計収支予算等の議案審議が行われ、提出議案は全て承認・可決された。なお、議事の中で任期満了に伴う役員の選任が行われ、新たな役員として、女性の会からの理事2名を加え、理事16名、監事3名が選任され、総会を休会して行われた役員互選会において、新会長に伊藤清栄氏(仁井田堰土地改良区)、副会長に児玉俊一氏(三種町土地改良区)、渡辺聡氏(由利本荘市子吉土地改良区)、佐藤靖彦氏(秋田県西仙北土地改良区)、総括監事に安養寺文隆氏(新城川土地改良区)がそれぞれ互選により決定した。各役員の任期は、令和8年総会までとなっている。

【優良会員表彰】

齋藤晴美(由利本荘市土地改良区)、武藤夏樹(美郷町千畑土地改良区)、伊藤真知子(美郷町千畑土地改良区)、村上司(秋田県田沢疏水土地改良区)、高橋美紀(秋田県仙北平野土地改良区)、田口和之(大仙市西仙北土地改良区)、柴田敏輝(秋田県雄物川筋土地改良区)、小坂希(湯沢雄勝土地改良区)



受賞者集合写真



秋田県農地集団化推進協議会

第63回通常総会を開催

6月23日(金)、メトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県農地集団化推進協議会(判田勝補会長)の第63回通常総会が本会高員会長ほか来賓を迎え開催された。

議事に先立ち、令和5年度農地集団化事業優良団体表彰が行われ、今年度は3団体が受賞となった。



左から、三種町浜口土地改良区 金子理事長、判田会長、秋田県南旭川水系土地改良区 藤井理事長

令和5年度農地集団化事業優良団体表彰

- 三種町浜口土地改良区(芦崎地区)
- 秋田県協和土地改良区(協和川口地区)
- 秋田県南旭川水系土地改良区(境町西部地区)

議事では、判田会長が議長を務め、令和4年度事業報告と収支決算報告並びに令和5年度事業計画と収支予算等の審議が行われ、提出議案は全て原案のとおり承認、可決となった。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、総会後の互選会において、判田勝補会長が再任された。新たな役員体制(任期R5.6.23～R7総会)は次のとおり。

会長：判田勝補(大仙市大曲土地改良区)、副会長：成田光弘(北秋田市土地改良区)、副会長：伊藤盛雄(にかほ市土地改良区)、理事：薩摩勝幸(秋田県能代地区土地改良区)、理事：伊藤洋文(雄和中央土地改良区)、理事：柿崎幹夫(秋田県雄物川筋土地改良区)、理事：瀬川等(湯沢雄勝土地改良区)、代表監事：佐藤辰雄(美郷町千畑土地改良区)、監事：鈴木美喜雄(潟上市天王土地改良区)、監事：金子俊顕(三種町浜口土地改良区)

令和5年4月から

「災害応急用ポンプ」の貸付を開始しております。

詳細は、「秋田の土地改良2023.3.27付VOL.524」で確認願います。現在3つの団体で使用しており、使用状況は下記のとおりです。

かつの 土地改良区

- 使用目的：揚水
- 借受期間：自 令和5年4月11日
至 令和5年7月11日
(延長申請予定)
自 令和5年7月12日
至 令和5年8月28日
- 借受台数：2台
- 現場設置時の状況：川からの取水のため、ポンプを固定するのに苦慮した。



大館市 (農政課)

- 使用目的：揚水
- 借受期間：自 令和5年5月15日
至 令和5年8月14日
- 借受台数：1台
- 現場設置時の状況：ホースの接地面が砂利のため、ホースが耐えられるか心配だった。



大仙市 大曲土地 改良区

- 使用目的：揚水
- 借受期間：自 令和5年4月27日
至 令和5年7月26日
- 借受台数：2台
- 現場設置時の状況：使用する場所によりホースの種類(材質等)を検討しなければならない。



令和5年7月10日現在の使用状況は、上記のとおり5台で、貸付可能台数は本会3台、北事務所0台、南事務所1台となっています。

使用状況等を確認したい場合は、本会の管理情報部(018-888-2722)までお問い合わせ願います。



秋田県男鹿市

「五里合地区」(男鹿市)のご紹介!!

五里合地区の紹介 /

秋田県男鹿市の北東部沿岸に位置する五里合地区は、丘陵に囲まれた盆地であり、比較的温暖な地域です。

平成27年から令和5年までの予定で農地集積加速化基盤整備事業を進めており、地区全体の6割近くの水田が1haに大区画されました。

現在、後継者不足が深刻化する中で、地域農業を担う法人の設立が必須だと考え、長ネギの生産に特化した3法人を設立し、99%の農地を集積することが出来ました。

今回は、長年にわたり地域を支え、基盤整備事業のまとめ役をした男鹿市五里合土地改良区理事長の佐々木一義さんにお話を伺いました。

事業概要(採択時点) /

事業名 県営農地集積加速化基盤整備事業

工事期間 H27年度～R5年度

主要工事 区画整理工、用水路工、排水路工、農道工、暗渠排水工・地下かんがいシステム

関係土地改良区 男鹿市五里合土地改良区

事業実施前(H26)	
水 稲	194.5ha
高収益作物 ・ 枝 豆	2.0ha
その他作物	56.4ha



事業実施前(R元)	
水 稲	205.3ha
高収益作物 ・ ネ ギ ・ カボチャ	19.0ha 1.5ha
その他作物	16.2ha

インタビュー内容 /

事業実施前の地区の状況について教えてください。

本地区のほ場は、昭和34年～37年に団体営積雪寒冷地ほ場整備事業で整備された10aの小区画で、農道は幅員2.8mと狭く、用排水路も兼用土水路であるため、農作業効率が悪く、維持管理にも多大な労力を費やすなど、大型農業機械の導入や高収益作物の導入による複合型経営の推進に大きな支障を来していました。

これからの地域農業が持続的に発展するためには、将来を支える担い手が意欲的に営農に取り組むことができる農業生産基盤を整備することが急務と考え、平成27年に本事業に着手しました。



男鹿市五里合土地改良区理事長
佐々木一義さん

長ネギを選定した理由を教えてください。

長ネギは大区画を活かした栽培が可能な作物で、水稻農家も取り組みやすいこと、また、市場動向も安定しており、県の重点作物でもあることから選定しました。

更には、ネギの生育に必要な気候や土壌条件が、五里合地区に合致していたことも要因のひとつです。



長ネギ収穫状況

地下かんがいシステムを活用しているのか教えてください。

令和元年の渇水時には雨量が約半分で定植期の過乾燥となったことにより、県の作成した地下かんがいマニュアルに基づき、適量のかんがいをを行い品質低下を防ぐことが出来ました。

佐々木理事長の将来的な展望を教えてください。

五里合地区では、人口減少と高齢化が急速に進んでいる中、土地改良区では3つの農業法人と連携を図りながら、スマート農業の導入や冬野菜の生産拡大等も検討し、更なる効率化と収益拡大を図りたいと考えています。

また、ネットワーク型園芸メガ団地の強みを活かして、長ネギの生産・販売の拡大を目指しているほか、地下かんがいシステムをフル活用し、キャベツや玉ネギの栽培も視野に入れています。

本土地改良区では、こうした取り組みにより、確固たる複合型生産基盤を確立して、厳しさを増す産地間競争においても勝ち抜ける地域農業を実現し、地域経済の発展と活性化に繋がりたいと考えています。



農事組合法人いりあいファーム
滝の頭ライスセンター

水土里のゴミゼロ 活動報告

令和5年度の「水土里のゴミゼロ活動」は、令和5年5月30日(火)全県8支部一斉に、それぞれ農業水利施設周辺の清掃、点検活動を行い、242名が汗を流した。

鹿角支部

かづの土地改良区
田端 純佳

(実施日) 令和5年5月30日(火)

(対象施設名) 農事組合法人末広ファームから国道103号線沿いまでの水路及び農道

(所在地) 鹿角市十和田末広字家ノ下地内

(参加人数) 9名

参加者の感想

今回はじめてゴミゼロ運動に参加してみて、地元の方々の日々の管理のおかげもあり、農道・水路共に綺麗に維持管理されていた。国道沿いには車道から捨てられたと思われるゴミが見られ、継続した維持管理が必要だと実感した。



大館・北秋田支部

田代町土地改良区
岩渕 仁志

(実施日) 令和5年5月30日(火)

(対象施設名) 山田地区支線用水路及び農道等

(所在地) 大館市山田字寺下、字新明、字館下地内

(参加人数) 14名

参加者の感想

農道脇に空のペットボトルや空き缶、栄養ドリンクの空き瓶などが多くあった。

農作業中に飲んで、そのまま捨てられていて残念に思う。畦畔など草刈りをして綺麗に管理しているのに、ゴミを捨てるのではなく、ゴミの管理も綺麗にして欲しいと感じた。



山本支部

能代市東土地改良区
畠山 睦子

(実施日) 令和5年5月30日(火)

(対象施設名) 桧山地区農道及び水路

(所在地) 能代市桧山地内

(参加人数) 30名

参加者の感想

桧山地区では初めての活動であり、参加者招集に不安があったものの30名の方々に参加していただき、活動の趣旨に理解を示してくれたものと感じている。県道脇の水路となると一般の車が多数走行するため、それなりにゴミ捨てが確認されたが、昔から綺麗な町づくりを心がけていたため、農道、用排水路には比較的ゴミの散乱は見られず、嬉しく感じた。



秋田支部

男鹿市土地改良区
和田 弘子

(実施日) 令和5年5月30日(火)

(対象施設名) 日本国花苑(井川町)地内の新堤(二階堤)と分水堤

(所在地) 南秋田郡井川町

(参加人数) 30名

参加者の感想

今回で2回目のゴミゼロ活動の参加だった。日本国花苑内にあるため池や水路の周りが散策コースや広場になっており、来られる方が気持ちよく使用できるようにゴミ拾いをした。これからも積極的にゴミゼロ活動に参加していきたいと思う。



由利支部

にかほ市土地改良区
竹内 幸男

実施日 令和5年5月30日(火)

対象施設名 内越土地改良区管内 由利本荘市
「芋川桜づつみ」

所在地 由利本荘市内越字内黒瀬地内

参加人数 14名

参加者の感想

心配された天気も回復し気持ち良く作業ができた。ゴミはほとんど無く、普段から環境へ配慮していると感じた。また、ゴミ拾いをしながら職員交流や土地改良施設の視察ができ、ゴミゼロ活動を通じて改めて農村環境の維持保全への啓発に努めていきたいと思う。



仙北支部

本会南事務所
永山 裕希

実施日 令和5年5月30日(火)

対象施設名 秋田県仙北平野土地改良区管轄の一丈木公園・ため池並びに仏沢ため池

所在地 仙北郡美郷町 浪花字一丈木・金沢東根仏沢 地内

参加人数 46名

参加者の感想

今回のゴミゼロ活動で私が回った所は比較的ゴミは少なかったが、美しい環境を保つことは、農業の発展にも大きく関わると思うので、今後も周りの環境状況に対して情報感度を高めていきたい。

また、他の土地改良区や県・町の職員との交流もできたので、とても有意義な時間だった。



平鹿支部

秋田県南旭川水系土地改良区
佐藤 真也

実施日 令和5年5月30日(火)

対象施設名 榑沢沼（秋田県雄物川筋土地改良区）

所在地 横手市大屋寺内地内

参加人数 68名

参加者の感想

初めてゴミゼロ運動に参加したが、捨てられたゴミの量と種類に驚いた。こうしたゴミは環境汚染だけではなく、様々な問題を引き起こすと思われる。周辺地域の子供が興味本位で落ちているものを拾い、それが原因でケガをする可能性も十分に考えられるため、今一度ゴミの不法投棄防止とゴミゼロ運動による活動が大切であることを実感した。



雄勝支部

湯沢雄勝土地改良区
倉田 一治

実施日 令和5年5月30日(火)

対象施設名 足田ため池

所在地 雄勝郡羽後町足田字大西地内

参加人数 31名

参加者の感想

足田ため池は公園と一体となっており、農村における景観形成にも大きく役立っていることから今回の清掃活動の拠点として選んだが、ゴミを拾ってみると、その量は大型のポリ袋で数個分にもなり、中には家電製品といった粗大ゴミが捨てられている状況であった。

ため池を含む農業用水は地域用水として地域住民のためにも利用されていることから、農業者や土地改良区だけが綺麗にしようと頑張るのではなく、今回のような清掃活動を通じて地域住民の方々と連携する必要性を改めて強く感じた。



男女共同参画推進

に関する意見交換会の開催について



県内土地改良区における男女共同参画を推進するため、秋田県、秋田県土連、県内土地改良区、学識経験者、オブザーバーで構成される「男女共同参画推進チーム」が昨年10月に発足しました。令和5年1月～3月にかけて支部ごとに5回に分け、改良区理事長向けの意見交換会を開催し、秋田県農林水産部農地整備課足立政策監（現農地整備課長）より県内の現状説明と併せ、活発な意見交換会が行われました。

主な意見等

- ☑ 町内の農業法人で積極的な方を候補者に選びたいと考えており、数人の目星を付けている。
- ☑ 女性理事登用について役員には浸透しているが、組合員には全く浸透しておらず、役員から打診されても理解を得にくいのではないかと。
- ☑ 女性理事の登用に大賛成であり、早々に取り組むべき内容である。
- ☑ 来年2月の役員任期満了までに方針を決定したい。
- ☑ 准組合員制度を活用して女性理事の登用を進めたい。



このように女性理事登用については積極的なご意見が多数見受けられました。今後も男女共同参画推進チームでは、県内改良区の女性理事登用に向け、積極的に情報提供や働きかけをして参ります。

令和5年度

「男女共同参画社会づくり表彰」受賞について



受賞式の様子

6月17日（土）アトリオン（秋田市）において令和5年度「男女共同参画社会づくり表彰」が行われ、かつの土地改良区 事務局長の根本由紀子さんが「チャレンジ賞」を受賞されました。

この表彰は、秋田県の男女共同参画推進の形成に関して、顕著な活躍をした個人または団体を表彰してその活躍を称えとともに、男女共同参画に対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会づくりの実現に資することを目的に毎年行われています。

今回の受賞は、未だ男性が多い土地改良の現場において、自らの知識と経験を活かし土地改良区事務局のトップとして活躍され、土地改良分野における女性活躍の先駆者として積極的に活動されていることや、令和元年に設立した「あきた水土里ネット女性の会」で初代会長を務められているほか、令和4年度からは全国組織である「全国水土里ネット女性の会」の会長に就任し、土地改良への女性参画拡大に尽力されていることから受賞の運びとなりました。

いつでもチャレンジ精神を忘れず「性別に関係なく仕事を尊重し合う働き方が大切」という考えのもと今後とも女性活躍の気運を高めるロールモデルとして益々ご活躍されることをご祈念申し上げます。



（左）根本事務局長 （右）陶山秋田県理事

土地改良区リレーインタビュー

内越土地改良区 事務長 斉藤 理枝子さん

土地改良区リレーインタビューの第6回目として内越土地改良区 事務長 斉藤 理枝子さんから様々なお話を伺いました!

インタビュー

Q.1

事務長に就任された時のお気持ちを教えてください。



斉藤事務長

土地改良区に就職し、30年間「書記」に携わっていました。
それから会計主任となり、平成29年度で前事務局長が定年退職し、平成30年度より事務長兼会計主任となりました。

歴代3名の事務局長のもとで仕事をしましたが、2人体制の事務局で、私は前事務局長が定年退職したことによる事務長であり、特に処遇が変わった訳ではありませんでした。

Q.2

今携わっている業務を教えてください。

2人体制なので、現場以外のすべての業務です。(会計や賦課金に関する事、苦情・要望対応、お茶出し、掃除など何でも・・・)



改良区の風景

Q.3

土地改良区に入るきっかけを教えてください。

前女性職員の方が辞められ、たまたまお話があり、「土地改良区って何?何をするとところ?どこにある?」というところから始めました。

前任者からの引き継ぎもなく、あと10ヶ月で定年退職する事務局長が1人いて、狭くて暗くて寒い事務所という状況で、ただただ不安でした。

Q.4

印象に残っている業務について教えてください。

土地改良の用語も仕組みも何も分からないまま、すぐに団体営は場整備が2地区続き、その後の県営は場整備も大変印象に残っておりますが、土地改良法の改正に伴う諸規程の整備、会計では単式から複式への移行などは前事務局長退職後で、事務所内で相談する人もいなく途方に暮れていました。

Q.5

土地改良区における女性理事10%の目標に向けて、土地改良区で取り組みを始めていますか。

女性理事選出の壁は厚く、ましてや小規模な土地改良区ではなかなか容易な事ではありません。

理事会で、話はしておりますが、具体的な取組は特に進めていないのが現状です。

Q.6

土地連や土地改良区といったNN業界(農業農村整備)を目指す女性にひと言お願いします。

土地改良区はまだまだ男性社会というイメージですが、地域に大きく関わりがある仕事だと思っています。

男女共同参画とはいえ、男女の仕事の違いがない訳ではありませんが、地域社会の活力を高めるために女性の力は大変重要であり、これから多くの女性の活躍を期待しています。



斉藤事務長と伊藤さん

農業水利施設の団体営事業選択フロー(参考)

01 造成事業

国営造成施設と一体となる農業水利施設もしくは、
国庫補助事業により造成された施設

団体営規模以上の事業により造成された
農業水利施設

02 実施内容

一部更新または整備補修

一部更新または整備補修
・概ね5年単位に行われる施設の整備補修
・例：オーバーホール、塗装、部品交換、浚渫等

03 対象施設

主要施設の更新
・例：水路、ゲート、揚水機等
・原則、施設全体を対象に機能保全計画を作成

主要施設の更新のほか、付帯
設備のみも可能
・例：電気系統、制御盤、
計器、弁のみ

04 工事着手までの期間

計画的な補修・更新が可能
・機能保全計画および実施設計の作成に期間を要
する

1年～5年
営農に支障、緊急性が高い
地区を優先

05 市町村負担の協議

負担必要
・市町村が実施主体の場合：市町村負担21%
・改良区が実施主体の場合：市町村負担13%

負担可能
市町村負担がない場合も問い
合わせください

団体営農業水路等長寿命化事業

【事業案件】

- ・国営、県営、団体営造成施設
- ・事業費200万円以上

- ・機能保全計画の策定（県要件）
- ・ソフト1年（機能保全計画策定）
- ・ハード3年以内

- ・受益者2者以上

【負担区分】

- ・市町村営：国50(55)、県14、市町村21、地元15(10)
- ・改良区営：国50(55)、県14、市町村13、地元23(18)

機能保全計画策定費用は国定額(過年度作成済みは不要な
場合がある)

土地改良施設維持管理適正化事業

施設整備補修(従来)

【事業要件】

- ・土地改良施設全般の整備補修
- ・事業費：200万円以上
- ・ハード1年以内

【負担区分】国30、県30、地元40

防災減災機能強化対策(拡充)

【事業要件】

- ・防災・減災対策、施設管理の省エネ化、デジタル化
- ・事業費：100万円以上
- ・ハード1年以内

【負担区分】国50、県20、地元30

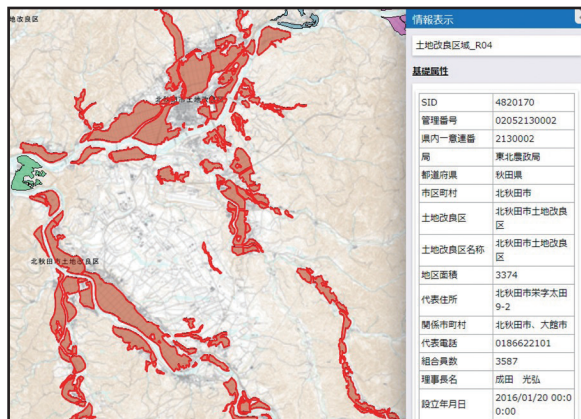
※施設整備補修と防災減災機能強化対策は事業要件に応じ
て選択可能

水土里情報システムのデータベースについて

水土里情報システムでは県や土地連等が作成したデータベースをシステム利用団体へ公開しています。農地筆のデータベースと同様、属性情報の検索、閲覧、印刷、編集することが可能となっていますので日頃の業務へお役立てください。

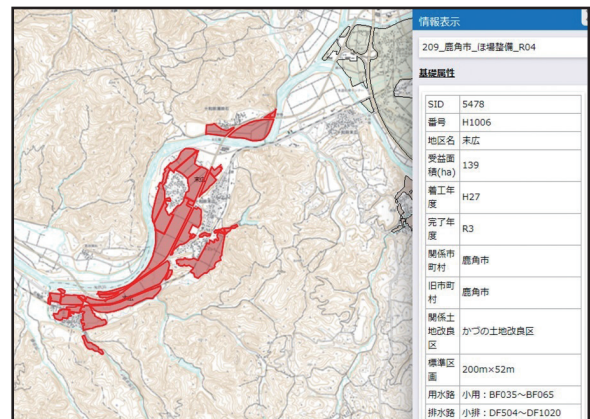
1 土地改良区位置図_R04年4月時点

内容：土地改良区の名称、区域、面積等



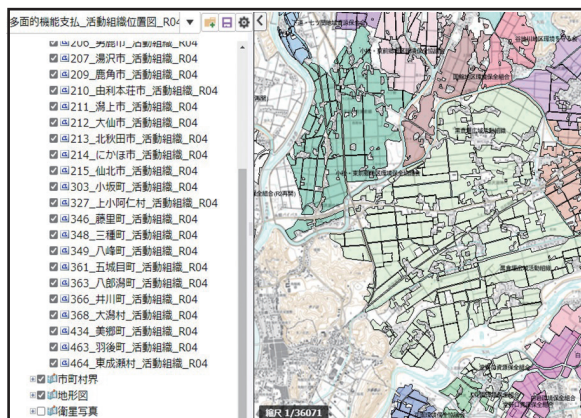
2 ほ場整備状況図_R04

内容：地区名、完了年度、法人情報等



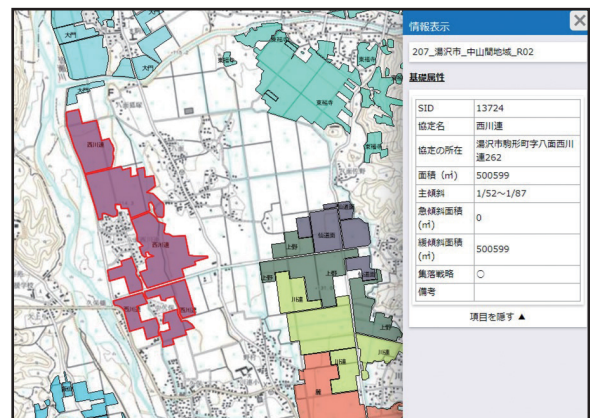
3 多面的機能支払_活動組織位置図_R04

内容：活動組織名、区域



4 中山間地域等直接支払協定範囲_R02

内容：協定名、区域、面積、主傾斜等



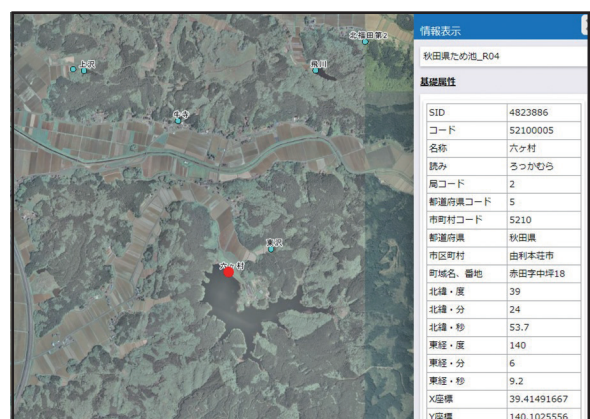
5 維持管理計画書

内容：頭首工、揚水機、用排水路、農道等



6 ため池防災支援システム

内容：名称、所在地、管理者、総貯水量等



未来へつなごう！ ふるさとの水土里子ども絵画展 2023

応募資格 小学生以下

対 象 「田んぼや畑」「農業用水路」などの風景、大切な水路を守っている人たち、農村や農業に古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、様々な農業風景など

応募期間 令和5年7月20日(木)～9月6日(水)

賞 農林水産大臣賞／文部科学大臣賞／環境大臣賞／全国水土里ネット会長賞／他

- 応募の決まり**
- ・四つ切り画用紙サイズ(38cm×54cm)(大型作品、工作物、共同作品は選定の対象外)
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。
 - ・応募作品には、応募用紙に必要事項を入力(記入)し、1点ずつ作品の裏面、右下隅にはがれないように貼り付けてください。
 - ・応募用パンフレットは下記URLよりダウンロードしてください。

応募先 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37
水土里ネット秋田(秋田県土地改良事業団体連合会)
総務企画部 政策・広報班あて
TEL: 018-888-2742 FAX: 018-888-2834
URL: <https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art>



令和5年度 秋田県土地改良事業推進大会

■ 令和5年度11月5日(日)午後1時00分

■ かたりあん(潟上市天王)



第146回秋田県種苗交換会 「農業農村整備フェア」を開催します!

■ 期間: 令和5年11月2日(木)～11月6日(月)

■ 場所: 天王総合体育館(潟上市天王)

■ 内容: 各種パネル・事業模型の展示・
土地改良相談コーナー・カレンダー
作成など



「随想」

シリーズ④

初夏の登山

かづの土地改良区

田端 純佳



すっかり初夏を感じるようになった7月上旬、山好きの母に誘われ、たまには運動をと思い、軽い気持ちで人生2度目の登山をしに秋田駒ヶ岳へ行ってきました。8合目までのバスに乗り山の上に着くと、下界のじめじめした空気とは一変した澄んだ空気と涼しい風がとても気持ちよく、一気に気分が高揚しました。



いざ山を登り始めると、初夏の高山植物たが出迎えてくれ、白や黄色小ぶりで可愛い花に癒さながら頂上を指しました。やかな空気なのですが、やはり登りはきつく

汗を流しながらも、ちょうどいい間隔で来る休み場に救われ、自分のペースでゆっくりと登っているうちに頂上に着きました。曇り模様だった天気も、着いた一瞬は晴れ、清々しい気持ちを増強してくれました。景色のいい中、山鳥や虫たちの声を聞きながら食べる昼食は、格別に美味しく疲れた体に染み渡りました。

日々の生活でやるべき事、頑張りたい事がたくさんある中で、疲れたり辛いことがあったりした時は、自分と相談して休憩しながらでも進み続けることが大事だと改めて感じました。自分自身の力で登る山だからこそ、自分を見つめ直し、生き方働き方を考える良いきっかけになった休日となりました。たまには山登りもいいですね。



会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。

○新城川土地改良区(R5.6.16)

理事長 菊地 福一郎

○かづの土地改良区(R5.7.14)

理事長 田口 裕

新支部長、副支部長就任のお知らせ

次の方々令和5年6月7日から新たに本会山本支部の支部長、副支部長に就任されました。

○支部長 薩摩 勝幸(秋田県能代地区土地改良区理事長)

○副支部長 伊藤 重好(琴丘土地改良区理事長)

大塚 和浩(能代南土地改良区理事長)

連合会日誌

6月9日	秋田県農業公社令和5年度第1回理事会	秋田市
6月27日	令和5年度秋田県多面的機能支援協議会通常総会	秋田市
6月28日	第2回監事会(令和4年度決算監査)	本会第1会議室
7月11日	大館・北秋田支部要請活動(～12日)	東京都(農林水産省、議員会館)
7月12日	山本支部要請活動(～13日)	東京都(農林水産省、議員会館)
7月20日	全土連理事会	東京都

今後の行事予定

8月18日	第2回正副会長会議	本会役員室
8月25日	第3回監事会	本会第2会議室
8月25日	第2回理事会・役員会	本会第1会議室
10月11日	全国土地改良大会福井大会	福井県



土崎港の風物詩

水土里レポーター：新城川土地改良区
庶務(ほ場整備事業担当) 佐藤 宗幸

秋田市土崎港では7月20日・21日に土崎港曳山祭りが開催されています。

この祭りでは各町内から様々な曳山と呼ばれる山車が祭り囃子を響かせながら町中を練り歩きます。

周辺住民や学生、また国の重要無形民俗文化財に登録されてからは更に多くの方が訪れています。まだ見たことのない方は来年ぜひ足を運んでみてください。



令和5年春の叙勲 受章者発表

旭日双光章(土地改良事業功労)



瀬川 等

・湯沢雄勝土地改良区理事長

旭日単光章(スポーツ振興功労)



成田 光弘

・北秋田市土地改良区理事長

この度の栄えある受章、誠におめでとうございます。
今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

令和5年7月14日から本県を襲った記録的な大雨により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

本会としても、県や市町村と連携しながら、円滑な災害復旧事業に向けて全力で支援してまいります。

編集 後記

4月号を発刊してから夏はまだまだ先だなんて思っていたのですが、ふと気付くとセミの鳴き声が聞こえる季節となりました。相変わらずコロナ禍ではありますが、今年の夏は久しぶりに花火大会など夏らしいイベントに参加したいです。

私自身、2023年の上半期は今まで経験したことがないような仕事に携わる機会をいただき、大変なことや悩むことも多くありましたが、その度に周りの方々から助けていただきました。もっとしっかりしなければと反省することも多々ありますが、下半期も変わらず周りの方々と切磋琢磨しながら、そして感謝の気持ちを忘れずに日々精進して参ります。暑い日が続きますが、会員の皆さま、関係者の皆さまにおかれましては体調管理に気を付け楽しい夏をお過ごしください。
(政策・広報班 寺澤)

リレー 感想文



秋田の魅力を紹介している記事や各地域の事業、行事等学べるため毎号楽しみにしています。今年は会報誌に載っていた地域の行事など沢山見に行きたいと思います。

管理情報部 技術・調整班
鈴木 佳偉